

Heart View [ハートビュー]

企画にあたって

池田隆徳(東邦大学大学院医学研究科循環器内科学 教授)

循環器薬は、他領域の薬剤と比べて薬理作用が強く、その効果を十分に発揮させれば患者の病状を劇的に改善させることができます。一方で、不用意に処方すると、本来の効果が期待できないばかりか、副作用を惹起し、患者の病状を悪化させる可能性も秘めています。薬は「諸刃の剣」といわれるように、効果をうまく引き出すためには、ある程度の知識と使用するうえでのポイントを押さえておく必要があります。

近年の循環器薬の進歩は目覚ましく、次から次へと新薬が導入されており、薬を処方する際に迷う医師が多いのではないかと思います。このような現状を鑑み、「もう迷わない！ 循環器薬物処方～若手医師へ贈る熟練医の処方の考え方」と題した特集を企画しました。若手医師におかれましては、処方する際に困っていたこと、疑問に感じていたことを払拭できるような特集になればと考えています。

本特集では、まず「循環器薬の特徴について識る」といったセクションを設け、主な循環器薬を総論的に学べるようにしました。個々の循環器薬の薬理作用の概略、使用頻度の高い薬剤、適応となる疾患、使い分けのポイント、類似薬との使い分け、主な副作用、禁忌について識ることができます。次に「疾患ごとの薬物の治療方針について理解する」というセクションでは、現在の診療ガイドラインに準じた疾患別のスタンダードな処方を学べ、また薬物治療以外の治療がある場合は、それらの治療とのすみ分けなどについても理解できるようにしました。最後に、「実臨床で迷うことがある病態での薬物治療の実際」というセクションでは、日々の臨床における実践的な薬の使い方を学べるようにし、加えてエビデンスだけでなく経験に基づいた解説もしていただきました。ご執筆を担当していただいたのは、皆さん循環器薬の使い方に精通した熟練医の方々です。

多くの若手医師に本特集を手にとっていただき、明日からの診療に役立てていただければ幸いです。